

事務事業名		家族介護者交流事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 介護保険サービスの充実と介護予防の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	20215	介護(保)	4	2	5	家族介護者交流事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～ 年度		根拠法令 条例等	介護保険法				
							市単独事業・国県補助事業		国県補助事業	
							任意的事業・義務的事業		任意的事業	
							実施方法		一部委託	
						事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		2-9		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
寝たきりや認知症の高齢者を介護している者等を対象に、宿泊研修会および介護方法・介護食等の介護教室を開催する。事業は佐野市社会福祉協議会に委託している。	寝たきりや認知症の高齢者を介護している者等を対象に、宿泊研修会および介護方法・介護食等の介護教室を開催する。事業は佐野市社会福祉協議会に委託している。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	事業への参加者数	人	77	78	80		
	事業開催回数	回	3	3	3		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

寝たきりや認知症の高齢者を介護している方	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	介護手当を受給している方	人	199	190	200		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

同じ悩みを持ち苦勞をしている介護者が交流を図ることで、悩みを相談したり世間話をする中でコミュニケーションが図れ、精神的にも肉体的にもリフレッシュできる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	交流が図れた人	人	77	78	80		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

必要な時に適切な介護保険サービスが受けられるようにする。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	要支援・要介護認定率	%	-	18.2	18.2	18.5	18.8
	一次予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900	5,950	6,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	178		177		175					
	県支出金	千円	89		89		88					
	地方債	千円										
	その他	千円	89		89		88					
	一般財源	千円	94		95		99					
	事業費計(A)	千円	450		450		450		0		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	450	事業委託料	450	事業委託料	450				
	人件	正規職員従事人数	人	1		1		1				
のべ業務時間	時間	25		25		25						
人件費計(B)	千円	97		99		99		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	547		549		549		0		0		

事務事業名	家族介護者交流事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-----------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成8年頃より、県の補助対象として事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度より県の補助が廃止された。 平成21年度から介護保険事業の地域支援事業として実施している。 平成27年1月に国が認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)を策定し、認知症の人の介護者への支援を推進していくことになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議員からは、認知症の方や一人暮らし高齢者などを地域で見守り支援するような体制を構築してほしい。在宅介護家族の会を含め、地域でのネットワークを作ってほしいとの要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	この事業を通して介護者の介護意欲が図られることは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、市の政策体系に合致している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	社会福祉協議会に事業委託を行っている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	在宅介護者のリフレッシュ等を目的とした事業であり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	在宅介護者に対し、この事業の周知を図ってきた。参加者もある程度は増やすことができたが、対象者も限られていることから頭打ちの状況にある。成果向上余地はほとんどないが、今後も引続き、関係者への周知等にを図っていく必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最低限度の事業実施の経費であり、これ以上削減はできない。人件費についても必要最小限の人数で対応しており削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	宿泊を伴う事業等、実費を伴うものは参加者負担金を徴収しており、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 在宅介護者の介護意欲を継続するためにも、この事業を継続することは必要であり、休止・廃止はできない。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			